

オンリーワンスクール新潟未来プロジェクト  
模擬株式会社「長岡CAT」  
平成27年度活動報告

長岡工業高等学校(長岡農業高等学校、長岡商業高等学校)

【テーマ】 地元理解と地域活性化を通じた海外をも視野に入れた経済的視点の育成  
～「緩やかな連携」から「強い絆」へ、長岡CAT第3のステージ!～

【目標】

- 1 地元商工会議所等からの協力を得た長岡地域独特の食材、商品の選定や商品コンペディションを通じたオリジナル商品の開発、及びそれをふまえた「今年のイチオシ」商品に特化した販売戦略の構築。
- 2 上記商品の県内外での交流拠点（長岡駅、新潟空港、新潟県アンテナショップ「ネスパス」等）での販売及び常設店舗経営に関する調査・研究。
- 3 「長岡CAT」合同合宿の実施による取締役、製造本部、営業本部、及び広告宣伝本部等部署ごとの意識形成、共通理解の促進と組織運営の基本の習得。
- 4 高校生が運営する県外の先進的な組織の見学とそこでの体験等とおとした研修の深化と進路実現への連結、及び高校生活満足度の向上。

【取組の概要】

- 1 商品コンペディションを通じて採用された企画に基づくオリジナル商品の製造。
- 2 セミナーハウス（長陵会館）を利用した「長岡CAT」合同研修の実施。
- 3 高校生が運営する県外の先進的な組織の見学・体験研修の実施。
- 4 感想文、アンケートによる「事後ふりかえり」の実施。

【取組の成果】

- 1 長岡市、ながおか未来創造ネットワーク(NPO法人)の協力を得て、従来の物販のみならず「カフェ」を設営し、新しい店舗設計を考える足がかりを作りすることができた。
- 2 セミナーハウス（長陵会館）を利用して「長岡CAT」合同研修の実施を実施し、学校間の交流ができ、これまで以上の「つながり」の意識形成を行った。また、長岡まつり「民謡流し」に参加し、知名度向上に向けた取組を行った。
- 3 長野県長野商業高等学校の生徒が運営する「長商デパート大売り出し」を実際に見学し、先進的な取組を体験的に研修することができた。
- 4 「長岡CAT」の活動とおして地域の方々とおふれあうことの喜びや、他者と協力して物事を遂行することの大切さを生徒に実感させることができた。

## 【平成27年度の取組の詳細】

4月14日（火） 第1回担当者（指導教員）会議

- （1）平成27年度の運営について （2）第1回取締役・監査役会について

27日（月） 第1回取締役会

- （1）「オンリーワンスクール新潟未来プロジェクト」について  
（2）今後の予定について

①第1回取締役・監査役会について ②今年度のイベント参加について

5月27日（水） 第1回長岡地区専門高校活性化会議（第1回取締役・監査役会）

- （1）各校平成27年度役員自己紹介  
（2）模擬株式会社設立に伴う代表取締役の選出について  
（3）平成27年度の主な活動予定について  
（4）「オンリーワンスクール新潟未来プロジェクト」について



第1回取締役・監査役会

6月 8日（月） 第2回担当者（指導教員）会議

16日（火） 第3回担当者（指導教員）会議

「オンリーワンスクール新潟未来プロジェクト」詳細事業計画の作成について

7月10日（金） 第2回取締役会

- （1）今後の部体制について  
取締役会・経理部・商品管理部・営業部・広報部の5部体制に決定  
（2）合同研修会の日程及び研修内容について  
（3）「県立専門高校メッセ」での取組について

25日（土） 合同合宿（場所：セミナーハウス長陵会館 時間：8:30～17:00）

内容 研修Ⅰ 長岡甚句・大花火音頭の踊りの習得

（昼食づくり＝協力体制の構築）

研修Ⅱ 仲間づくりのためのグループワークトレーニング

研修Ⅲ 部署別グループ協議「『長岡CAT』の今年のコネクトを  
考える」（協議後、プレゼンテーション）

8月 1日（土） 長岡まつり民謡流し 参加

11日（火） 「県立専門高校メッセ」でPR・販売活動



長岡まつり民謡流し



県立専門高校メッセでPR・販売活動

9月11日（金） 第1回運営会議（第2回取締役・監査役会）

- （1）「常設店舗」開設に向けた基本方針及び長岡市からの提案について

(2) 今後の活動予定について

①おっここ撰田屋市 (10/3開催) での出店について

②「長商デパート」(長野県長野商業高等学校) の見学研修について

1 7 日 (木) 第3回取締役会

(1) 長岡市の提案に係る常設店舗の試行について

(2) 常設店舗の企画・内容について

(3) アオーレグッズ(ノベルティ)の商品開発について

1 0 月 3 日 (土) おっここ撰田屋市 出店

2 4 日 (土) 県外研修 (長野県長野商業高等学校「長商デパート 大売り出し」見学研修)

日程 7:20 長岡駅東口集合 出発

10:30 長野県長野商業高等学校到着

全体説明の後、見学研修

14:30 研修終了 帰路出発

17:45 長岡駅東口到着 解散



おっここ撰田屋市 出店



「長商デパート 大売り出し」見学研修



1 1 月 1 4 日 (土) 「長商全国食King」(長岡駅東口Eプラザ) 出店

1 5 日 (日)

1 2 月 1 0 日 (木) 第2回運営会議 (第3回取締役・監査役会)

(1) 長岡市からの支援の受入について

(2) オリジナルイベント「長岡CATのクリスマス」の具体的内容について

(3) アオーレ長岡冬季2イベントへの出店について

※長岡市からのオブザーバー出席者

長岡市市民協働推進室 柳鳥課長 上村課長補佐 桜井係長 勝沼主査

ながおか未来創造ネットワーク 川合中活リーダー

1 9 日 (土) オリジナルイベント「長岡CATのクリスマス」開催 (リバーサイド千秋)



長商全国食King



第2回運営会議

(長岡市からオブザーバー出席)



長岡CATのクリスマス

2 7 日 (日) 「こどもフェニックス塾」(アオーレ長岡) に物販に加え、常設店舗の試行として「カフェ」を併設して出店



こどもフェニックス塾



ラグビーまつり2016inアオーレ



オリジナル紙コップ

平成28年

1月24日(日) 「パパもママもあそぼ〜れ!ラグビーまつり2016inアオーレ」(アオーレ長岡) 常設店舗の試行として「カフェ」を併設して出店

2月 9日(火) 平成27年度株主総会 開催  
(1) 報告事項 事業報告及び各校活動報告  
(2) 議案審議 第1号〜第4号議案  
(3) 指導・講評



※来賓 新潟経営大学 吉田准教授  
長岡市市民協働推進室 上村課長補佐  
長岡商業高等学校 笠井PTA会長  
長岡農業高等学校 石原PTA会長  
長岡工業高等学校 横山PTA副会長

【長岡市・(NPO法人)ながおか未来創造ネットワークとの連携】

8月26日(水) 長岡市市民協働推進室(ながおか未来創造ネットワーク)から要請・提案  
(1) 「アオーレ長岡の新しい魅力づくり」への協力要請  
①カフェサービスの提供(カフェセット試作品の作製)  
②アオーレグッズ(ノベルティー)の商品開発  
(2) 事業展開に必要な資源支援の提案

9月17日(木) 第3回取締役会  
(1) 長岡市の提案に係る常設店舗の試行について  
「長岡CAT」の基本的なスタンスを確認した上で、受入を決定  
(2) 常設店舗試行における企画・内容について  
(3) アオーレグッズ(ノベルティー)の商品開発について

18日(金) 長岡市との協議(1回目)  
(1) 長岡市のスタンスの説明  
(2) 協力・支援体制の受入に関する基本的合意  
(3) 3校の生徒が協働するための活動拠点(オフィス)提供の申し出

29日(火) 「長岡CAT」運営のための校長・教頭・担当教員会議(1回目)

10月 8日(木) 長岡市との協議(2回目)  
(1) 「長岡CAT」の基本的スタンス・基本方針・H27年度活動計画、及び新潟未来プロジェクトにおける県配当予算の概要の確認  
(2) オフィスについて(アオーレの「サテライト」としての利用についての再考要請)

(3) 常設店舗試行について(アオーレイベントでの出店)

(4) カフェの試作品について

28日(水) 「長岡CAT」運営のための校長・教頭・担当教員会議(2回目)

(1) オフィスについて

①提案を受け入れと具体的な借用方法・什器等についての協議の開始

②以後のスケジュールを踏まえた借用期間・目的・用途等の明確化

(2) 常設店舗「試行」について

①アオーレ長岡冬季2イベントを選定と常設店舗試行出店の実施

(カフェ機能を持たせ、試作品(ワンプレート方式)の販売を試みる)

②出店するアオーレ長岡冬季イベントは下記の2イベントとする。

・H27, 12, 27(日) こどもフェニックス塾

・H28, 1, 24(日) ラグビーまつり2016inアオーレ

11月10日(火) 第1回長岡市と「長岡CAT」協働に係る担当者会議

(1) 上記「長岡CAT」運営のための校長・教頭・担当教員会議での協議内容を確認し、支援受入について正式合意

(2) 上記アオーレ長岡2イベントに出店決定

(3) その他

①森本千絵氏(「アオーレバード」デザイナー)との連携について

②平成28年度の支援について

※会議前にオフィス想定物件(樋熊ビル5階)の現地視察を行った。

12月10日(木) 第2回長岡市と「長岡CAT」協働に係る担当者会議

(1) 「こどもフェニックス塾」出店に向けた計画について

(2) オリジナル紙コップの作成について

(3) その他

①「ラグビーまつり2016inアオーレ」でのペッパー君の使用について

②イベント開催に対する長岡市の期待について

### 【取組に対する生徒の意見、感想等】

1 年度当初の取組に対する気持ち

- ・地域の人々と話したりするので、人とかかわることについて学ぶことができると思った。
- ・農、工、商の高校が一緒になって活動するというのがすごいと思った。
- ・校友会(生徒会)総務に入るときに、CATの活動に参加することは聞かされていなかった。
- ・自分が望んで入った訳ではないのでそこまで、積極的ではなかった。

2 事前の活動に対する理解と当日の活動への積極性について

- ・カフェや販売など積極的にてきた。
- ・準備でイベントに使うものを作成していたが、前日には準備に行けなかった。
- ・部活の大会などがありなかなか参加できなかった。
- ・積極的ではないが、やることはやった。
- ・みんなで協力して活動を行うことができた。

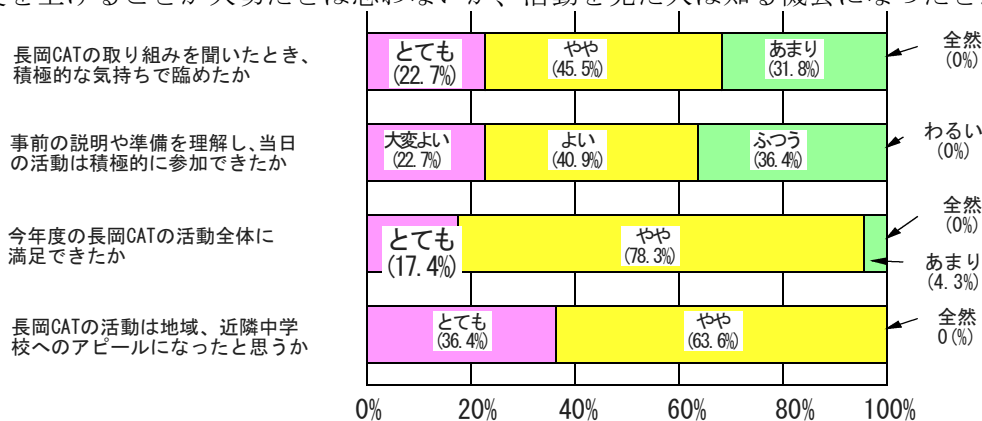
3 今年度の活動の満足度



- ・アオーレでのイベントなど他校の生徒と協力できた。
- ・自分が長岡CATのアピールに協力できたことや、人と関わったりできたので、とても満足のできる活動だった。
- ・もっとイベントを増やしてもよかったと思う。
- ・自分への社会勉強になったと思う。
- ・CATの皆の仲も深まったと思う。
- ・このような活動は人生で初めてやった。物を売る際に積極的にはなれなかった。実際に物を売る体験ができることは素晴らしいと思う。
- ・三校合同というのはなかなかできないことなので、良い活動だったと思う

#### 4 活動の地域に対するPR度や地域の認知度について

- ・多くのイベントに参加したことで、たくさんの人に知ってもらえたと思う。
- ・地域の人たちと関わりをもつことができた。
- ・各校の特色を活かした活動をアピールすることができたと思う。
- ・まだ知名度が低いと思った。
- ・知名度を上げることが大切だとは思わないが、活動を見た人は知る機会になったと思う。



#### 【総合所見】

1 これまで以上に3校の生徒間に「つながり」の実感や自覚を促すため、合同研修会の実施や長岡まつり「民謡流し」への参加、更に県外研修等を企画し、一緒に行動する機会を増やす仕掛けづくりを行った。また、長岡市の全面的な協力を得て、常設店舗の試行の第一歩として「カフェ」を設営、運営し、3校の生徒が相互に協力する場面を増やすことができた。

これらにより、昨年度以前に比して格段に連帯感や協力体制は向上したと思われる。平成28年度も常設店舗運営の基礎力として、連帯し協力する意識をより一層高めたい。

2 本校ではこれまで「長岡CAT同好会」として、単年度の募集、解散を繰り返してきた。継続する生徒もいるが人数が限られるため、校友会（生徒会）総務となった生徒をイベントごとに動員することで運営を行ってきた。

しかし、新潟未来プロジェクトの指定を受けたこと、長岡市の支援を受入れこれまで以上の活動を展開する必要があることを考えた時、連続性、継続性のある生徒の存在と活動が望まれる。

そこで、平成28年度からは「長岡CAT同好会」を維持しながら、校友会（生徒会）の委員会の1つとして位置づけ、各クラス2名の委員を選出し、恒常的な生徒数の確保をすることとした。これにより「長岡CAT」の活動に更なる弾みをつけたい。